

平成28年9月27日(火)

老球の細道271

男子プロバスケット「Bリーグ」スタート

会津バスケットボール協会 室井 富仁

2014年11月26日、日本バスケットボール協会(JBA)は国際バスケットボール連盟(FIBA)から資格停止処分を受けた。今後一切日本代表の国際試合の参加を認めない。ことと場合によっては2020年の地元東京オリンピックの出場も認めないという厳しい処分だった。制裁に至った理由は大きくまとめると次の3つがあげられた。

- ① トップリーグの並立。男子のJBLリーグとbjリーグの統一を図る。
- ② ガバナンス(統率力)の不在。協会内部組織、体制の改革を図る
- ③ 日本代表の低迷。各カテゴリーが連盟内の戦いに終始し、世界で戦うための強固なシステム構築を軽視している。代表強化プログラムを導入する。

このような状況から危機感を持ったJBAはサッカー界の大御所川淵三郎氏を会長に招聘し、日本バスケットボールの改革に乗り出した。元JBA会長で元首相の麻生太郎でさえなしえなかったバスケット界の大改革を外部者である川淵氏がたった1年で、いとも簡単にやりとげてしまった。バスケットボール界の多くの重鎮の猛反発にあいながらも。

昨年、トップリーグの一本化にめどがついたことにより、FIBAも制裁解除の措置をとった。そのために女子代表がリオデジャネイロ五輪に参加ができ、トステインのU-18代表がテヘランのアジア選手権で準優勝することができた。

JBAとしてはFIBAの制裁解除の3つの提言については、まだまだ「実現」という意味では不十分であるという認識を持っている。そのような厳しいJBA事情の中で、先日遂に男子プロバスケットの統一リーグ「Bリーグ」が開幕した(私はBの名前に不満)。

開幕戦は昨年のJBLとbjのリーグチャンピオンチーム対決となった。東京代々木第一体育館に1万人の観客が集まった。福島ファイヤーボンズの猪苗代体育館での600人という観客数がうそのようである。チケット代は一般席が5千円、コートサイド席が7万円という。NBAを彷彿させるセレモニーがソニーミュージックの斬新な企画で繰り広げられた。テレビ放映にはもってこいだっと思う。ゲーム内容は、NBAを常時見ている人にとっては物足りなかったかもしれないが、これからである。

BS放送で観戦していたら、ゲーム開始前にBリーグチェアマンの大河氏(この人もサッカー関係者)がNHK上野アナウンサー(元NHK福島)のインタビューに答えていた。**【これからの日本バスケットボールのスローガンは「Break the Border」。具体的に3つのコンセプトで現在日本バスケットボールにある見えない「壁」や「境界」を突き破り、さらにバスケットボールを上げていきたい。①前例を笑え：過去にとらわれず新しいことにチャレンジせよ②常識を壊せ：年功序列などの悪い慣習を壊せ③限界を越えろ：バスケットボールだけの狭い範疇に止まるな】**

バスケット未経験者でもバスケット界を改革することができる。川淵氏がサッカーJリーグを立ち上げた時にサッカー関係者に訴え続けたコンセプトは次の3つだった。①ミッション：使命感を持って②パッション：情熱を持って。まず燃えろ③アクション：行動を起こせ。毎日マンネリと過ごしながら「ハクション」などとくしゃみなどしている暇はない。日本の夢のようなバスケットボール環境を作るために草の根で尽力したい。